

英語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇 〇〇

1 日時・学年・学級 平成29年11月〇日(〇) 3年〇組

2 単元名 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3
Program 7 What Is the Most Important Thing to You?

3 単元について

単元観

本単元は、有意義な国際協力を目指して、世界中でボランティア活動を行って発展途上国を支援したり、発展途上国のために働く人材を育成したりする取組を続けている、国際協力師の山本敏晴さんの活動を紹介している。

主な活動の一つである「お絵描きイベント」を紹介した英文を通して、発展途上国（アフリカ・南太平洋）の現実を知るとともに、自分の国に対する強い思いをもった子どもたちのメッセージを通じて、世界の中で自分たちに何ができるのかを考えることを促す内容となっている。また、この単元の最後に、「あなたにとって最も重要なもの（人）は何（誰）ですか」という問いが発せられており、生徒達はこの問いに答えることを通して、本単元の本文の内容に対する自分の考えや意見をもつことができるようになっていく。

このことから、中学校学習指導要領解説外国語編の「書くこと」(エ)「身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。」に関連した活動を行うことが可能である。

したがって、本単元では、「話すこと」と「書くこと」の統合的な活動を位置付けるとともに、自分の大切なもの（人）について、読み手にわかりやすい表現を用いて自分の考えや気持ちを書くことができる力を養う。

4 単元の目標と評価規準（※能力に関する記述のみとしている）

〔目標〕 ○ 自分の大切なもの（人）について、読み手にわかりやすい表現を用いて自分の考えや気持ちを書く。

→ 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標との関連 **書くこと②**

〔評価規準〕 ○ 自分の大切なもの（人）について、読み手にわかりやすい表現を用いて自分の考えや気持ち書くことができる。

※ 本単元では、「話すこと」と「書くこと」の統合的な活動を位置付けるが、目標は自分の大切なもの（人）について、読み手にわかりやすい表現を用いて自分の考えや気持ちを書くことなので、「書くこと」に焦点を当てて評価する。

※ 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標【3学年終了時】

外国語表現の能力		外国語理解の能力	
話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
やりとり ①聞いたり読んだりしたことについて、内容を確認するために問答したり、意見を伝え合ったりすることができる。	①読んだり聞いたりしたことについて、概要や要点をまとめたり、根拠を明確にしたりしながら、意見や賛否を書くことができる。	①自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ることができる。	①物語や説明文など、内容的にまとまりのある英文を読み、分からない語などがあっても、あらすじや要点を捉えることができる。
発表 ②様々なテーマについて自分の考えや主張などを聞き手にわかりやすく話すことができる。	②様々なテーマについて、事実や自分の考え、主張などを読み手に伝わりやすい構成で書くことができる	②インタビューやアナウンスなど、内容的にまとまりのある英文を聞いて、その概要や要点などの必要な情報を聞き取ることができる	②物語や説明文など、話の内容や書き手の意見に対して、感想や賛否とその根拠を示せるよう読むことができる

5 「主体的・対話的で深い学び」に向けた本時の工夫

○ 「主体的な学び」

言語の使用場面を設定する際に、学ぶことに興味や関心をもたせるために、生徒の身近な話題を取り扱うこととした。「自己関連性」を意識することで、生徒の「主体的な学び」につなげることをねらっている。

○ 「対話的な学び」「深い学び」

ペアワークでの活動や、最後の振り返りの場面では、既習表現も用いた対話形式の表現活動を行うようにした。これらの場面で、既習表現と新出表現を関連付けて自分の考えや気持ちや表現することを通して、自己表現の幅を広げる「深い学び」につなげることをねらっている。

6 指導と評価の計画

時	ねらい	評価方法
1	○ 本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ○ もの（人）について説明する表現は様々あることを思い出させ、確認する。	
2	○ 教科書本文(Part.1)を読み、主人公がどんな人物かを説明する文章を書く。	
3	○ 関係代名詞主格 [which] を用いた文の構造を理解する。	
4	○ 教科書本文(Part.2)を読み、あるものについて、どんなものかを説明する文章を書く。	
5 【本時】	○ 関係代名詞主格を用いた文の構造を理解し、それらを用いて、自分の気持ちや考えを添えて、あるもの（人）を説明する練習をする。	
6	○ 教科書本文(Part.3)を読み、もの（人）について説明する文章を、自分の気持ちや考えとともに書く。	
後日	○ 自分の大切なもの（人）について、読み手に分かりやすい表現を用いて自分の考えや気持ちを書く。	ワークシート

※ 評価については、ここでは指導に生かすための評価（形成的評価）は示しておらず、外国語表現の能力の観点の評定につながる評価（総括的評価）に係るもののみを示している。

7 本時の指導過程と評価（**主**：主体的な学び，**対**：対話的な学び，**深**：深い学びを表す）

	学習活動	○指導上の留意点・支援	評価規準 (評価方法)
導 入	1 挨拶 (帯活動) 2 50問テスト (New Word) 3 復習 (1) チャンツ (2) 口頭確認 4 本時のめあての確認	○ あらかじめ学習した、理由を示しながら自身の考えを話すための表現を意識するよう呼びかける。 ○ 音の連結や脱落など、発音の際に気を付けることを再確認する。 ○ 生徒が集中して活動に取り組めるよう、時間を決めてスピーディーに進め、メリハリをつける。	
	あるものや人について情報を加えて詳しく説明しよう！		
展 開	5 ヒントクイズ ○ 英語を聞き、答えを予想させる。	○ 教師がモデルを示すことで、クイズの出し方をつかませる。	

	<p>6 ペアワーク 対 (友だちにクイズを出し合う活動)</p> <p>7 もの・人について表現する活動 (事前に英文を用意しない即興性を求める活動) 主 深</p>	<p>○ ペアで協力する(教えあう)ことも可能であることを伝え,なるべく多くの友だちと会話できるようテンポよく行う。</p> <p>○ 間違いを恐れずに書こうとする態度を大切にさせる。</p>	
<p>まとめ</p>	<p>8 本時の振り返り</p> <p>○ ワークシートに書くことで本時を振り返り, それをもとに振り返り表に, 目標が達成できたか記入する。</p>		